

◆防災ニュース◆

# 香北町で最初の自主防災組織が結成されました



本田自主防災組織の設立総会

5月20日、本田自主防災組織設立総会が開催され、6月1日には自主防災組織が結成届が、防災対策課に提出されました。

香北町内では昨年度から自主防災組織の取り組みが始まり、いくつかの自治会で説明会が開催されているなか、本田防災会が香北町で第1号の自主防災組織として立ち上がりました。

今後、本田防災会では、防災マップ作成、資機材整備、防災訓練などに取り組み予定です。

香北町で初めて自主防災組織が立ち上がったことにより、香北町や物部町でも自主防災組織設立への気運の高まりが期待されます。

## 南海地震に備え、自主防災組織を立ち上げてみませんか？

### ◆自主防災組織の必要性

阪神・淡路大震災では、6400人以上の犠牲者を出し、44000人といわれる負傷者が出ました。倒壊家屋などに閉じ込められた約2万人の救助を行ったのは、全体の約9割が隣近所や家族であり、公的機関が救助したのは、1割程度であったことが分かっています。地震時には遠くから来る救助隊は間に合いません。

そして、負傷者の救命は72時間が限度といわれ、発災後1日目に救出された人の生存率は約80%、2日目は約25%、3日目は約20%、4、5日目では5%であったという例があり、初期救助が重要であると考え、大きな災害等が発生した直後、すぐに救助活動が行え、

負傷者の「命」を救えるのは、地域の皆さんであるということがいえます。

自主防災組織を立ち上げて、日ごろから防災訓練や知識を蓄えておくことが大切です。

### ◆香美市の自主防災組織

香美市では、南海地震に備え、自主防災組織設立に取り組んでいます。自主防災組織は基本的には自治会単位で立ち上げていますが、世帯数が少ない自治会では近隣の自治会と合同で立ち上げることも可能です。大きな災害等から、自分や家族の命、そして地域を守るために、あなたの地域でも、自主防災組織を立ち上げてみませんか？

・防災対策課では、地域の方が集まるときにあわせて、

地元説明会を開催しています。説明会は地域の公民館等を会場として、地震の話や自主防災組織の必要性などを説明します。説明会をご希望の場合は、防災対策課までご連絡をお願いします。

・現在、香美市での自主防災組織数は55組織あり、防災倉庫や資機材の整備、防災マップの作成、防災訓練などに取り組んでいます。

### 【自主防災組織率】

28・6%

(55組織/192自治会)

※6月1日現在。ただし、自治会数に対しての数字。

### ◆補助制度

資機材や倉庫設置する場合、各防災会へ補助金を出しています。各防災会によって額が変わりますので、詳細については左記までご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

防災対策課 ☎53-1061

## 7月1日オープン 地域交流施設『ほっと平山』

旧平山小学校（土佐山田町）が、新たに地域交流施設『ほっと平山』として動きはじめます。学校の雰囲気を残した木造校舎での研修や宿泊・合宿などにご利用いただけます。地元の新鮮な食材を利用した料理でおもてなしいたします。また、隣接する平山木工所や風の窯（陶芸）での体験、親水公園や甫喜ヶ峰森林公園の豊かな自然を満喫し、温かい気持ちで“ほっと”する時間をお楽しみください。

### 【利用案内】 宿泊人数=30人まで

※会議室の貸し出しもあります。

※体育館もあります。（申込は教育委員会へ）

※料金等については詳しくは下記へお問い合わせください。

### 【休館日】 水曜日（火曜日の宿泊は受け入れます）

年末年始（12月29日～1月3日）

### 【予約・問い合わせ先】 ほっと平山

☎ 53-2076

FAX 53-7178

〒782-0062

香美市土佐山田町平山459番地



### ◆利用してみませんか！公設の宿泊施設◆

市内には、次の既設の公設宿泊施設があります。市民の皆さまもご活用ください。

#### ピースフル・セレネ



アンパンマンミュージアムや健康センターセレネに隣接のホテルは、山の緑が映えるお城のような外観で、全室に、やなせたかし氏のリトグラフが飾られています。噴水のあるレストランでは地元産品が味わえます。

☎ 59-3388

FAX 59-3166

※火曜日休館（火曜日が祝日の場合は、その翌日）

#### べふ峡温泉



物部川源流「べふ峡」の入り口にあり、新緑の季節や紅葉シーズンは県内外の温泉客に人気です。ぼたん鍋のほか、アメゴや田舎寿司、山菜料理などが大好評。週末にはキャンプ客も多く、バーベキューハウスも盛況です。たけのこ掘りや梅の収穫など昼食付きの体験観光メニューもあります。

☎ 58-4181（年中無休）

#### ライダーズイン奥物部



全国から高知を訪れるバイクライダーは多く、県内5カ所で運営されているライダーズインは、同じ料金、同形の専用宿泊所であり、ライダーたちの交流拠点施設となっています。

☎ 58-3030

FAX 58-3031

（年中無休）